

日本口蓋裂学会

補綴歯科分野

認定師 重点症例研修記録用紙

2023年度審査用

申請者氏名：○○ △△

所 属：***大学歯学部補綴科

重点症例 一覽

番号	年齢	診断名	術式・治療法
1		左側口唇顎裂	インプラント
2		左側口唇口蓋裂	ブリッジ

会員番号： 1234567

申請者氏名： ○○ △△

所属名： 日本口蓋裂学会

・経験施設名：日本口蓋裂学会東海支部

・カルテ番号： 90078929

・診断名： 左側口唇顎裂

・術前の経過・状態（検査・記録）

1991年5月、口唇形成術

1999年矯正治療開始、口蓋拡大、 $\llcorner 2$ 、 $4\llcorner$ $\llcorner 4$ 便宜抜歯

2005年から2006年まで DBSにて矯正治療

2006年 保定装置装着

歯周組織検査の結果、中程度の慢性歯周炎、
下顎左側23動揺あり

・他領域との連携体制：

5か月齢に口唇形成術（本学口腔外科）

9歳から15歳 矯正治療（近隣矯正歯科）

18歳時に骨移植術（本学口腔外科）

口腔外科、矯正歯科との合同カンファレンスにより、右側
側切歯欠損部位に骨移植を行い、インプラント補綴が計画さ
れた。

・特記事項： 特になし

・症例番号： 1

・部位： $2\llcorner$ MT

・初診時年齢： 15歳

・主訴： インプラントの歯を入れたい

・診断： 顎裂および前歯部の欠損による審美障害

・治療内容・経過

2006年8月 補綴科初診

2007年2月 術前検査、CT撮影

2008年3月 本学口腔外科において、骨造成術（オトガイ骨より移植）

2008年8月 本学口腔外科において、インプラントフィクスチャー埋入
ブローネマルクマークⅢ、Ti unite NP 3.3×11.5mm

2009年3月 インプラント2次手術、プロビジョナル装着。口腔外科と
の連携により同日にプロビジョナルを装着した。

2009年8月 インプラント上部構造装着

2013年8月 経過観察 口腔内所見記録

インプラント上部構造装着後は、当院歯科衛生士と連携して、口腔ケ
アおよび、咬合のメンテナンスを半年ごとに行った。

写真1 :



撮影日 : 2006 年 8 月 22 日

(写真1の説明) 初診時口腔内所見

・症例番号 : 1

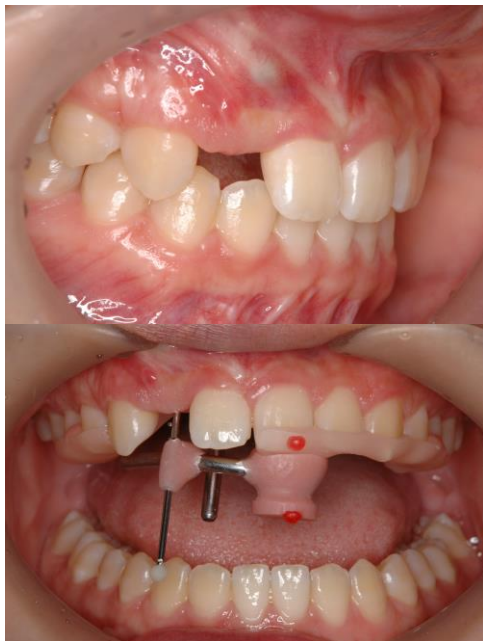
・写真2 :



撮影日 : 2008 年 2 月 15 日

(写真2の説明)
CT撮影用 ステント装着時

写真3 :

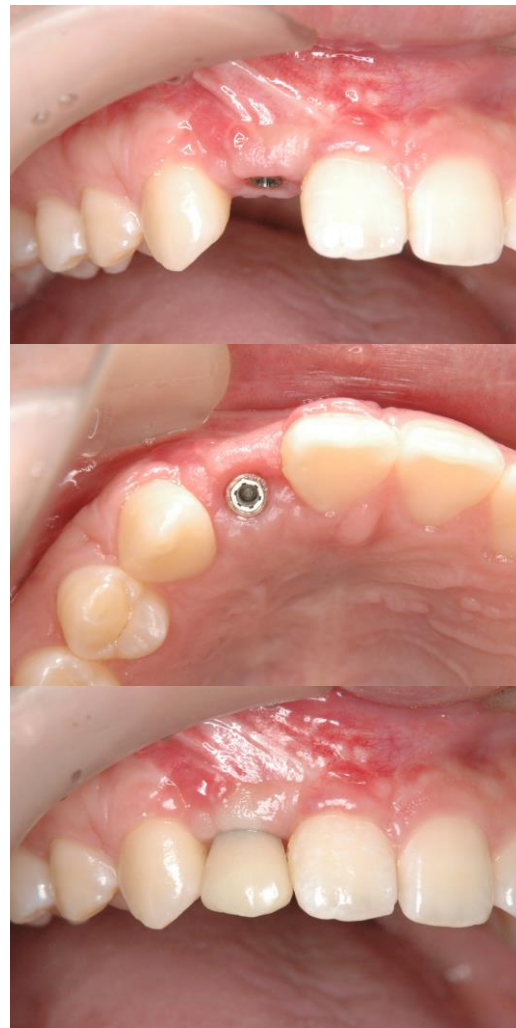


撮影日 : 2008 年 8 月 12 日

(写真3の説明)
骨移植後、インプラントフィクスチャー埋入時、サージカルガイド製作

・症例番号 : 1

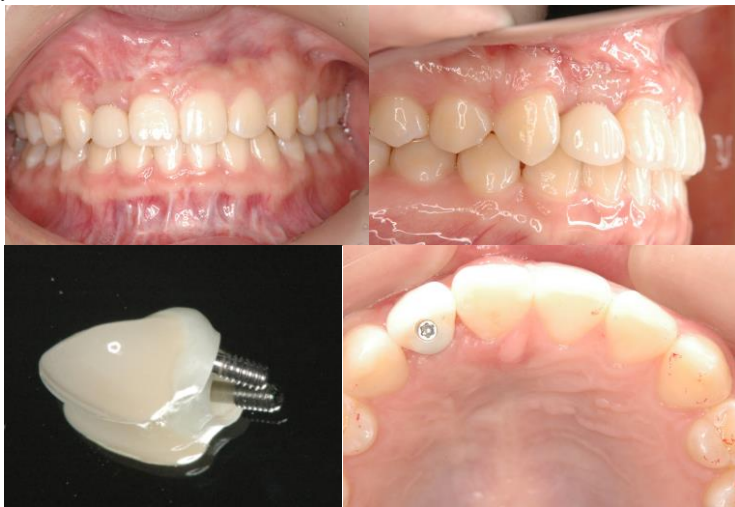
・写真4 :



撮影日 : 2009 年 3 月 27 日

(写真4の説明)
インプラントフィクスチャー2次手術後、プロビジョナル装着時

写真5 :



撮影日 : 2009 年 8 月 27 日

(写真5の説明)
上部構造 (ジルコニア支台、陶材焼き付け冠) 装着時
口腔内所見

・症例番号 : 1

・写真6 :



撮影日 : 2013年 9 月 27 日

(写真6の説明)
治療終了後4年経過時の口腔内所見

術前：



撮影日： 2006 年 9 月 11 日

(術前検査の説明)

補綴科初診時のパノラマX線画像

・症例番号： 1

・術後：



撮影日： 2014 年 9 月 9 日

(術後検査の説明)

インプラント治療終了後5年経過時のパノラマX線画像